

令和6年度単位互換授業履修対象科目（後期）一覧

構成機関名

(秋田大学)

No.	ページ	授業科目名	担当教員	単位数	学期 ()内初日	受入数	学部等	曜日/時限	備考
1		法学入門ⅠB	小野寺 倫子	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	50名以内/オンデマンド/B1
2		法学入門ⅡB	小野寺 倫子	1	4Q (12/3)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	50名以内/オンデマンド/B1 ※Ⅰを履修していることが条件
3		日本国憲法ⅠB	棟久 敬	1	3Q (9/30)	若干名	教養基礎教育科目	—	100名程度まで/オンデマンド/J
4		日本国憲法ⅡB	棟久 敬	1	4Q (11/29)	若干名	教養基礎教育科目	—	100名程度まで/オンデマンド/J
5		現代社会と政治ⅠB	中澤 俊輔	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	ハイフレックス型/J
6		現代社会と政治ⅡB	中澤 俊輔	1	4Q (12/3)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	ハイフレックス型/J
7		社会と家族Ⅰ－家族社会学の基礎－	石沢 真貴	1	3Q (10/2)	若干名	教養基礎教育科目	水/5・6	120名以内/オンデマンド/J 状況によりzoom又は対面を併用する場合あり
8		社会と家族Ⅱ－家族社会学の基礎－	石沢 真貴	1	4Q (12/4)	若干名	教養基礎教育科目	水/5・6	120名以内/オンデマンド/J 状況によりzoom又は対面を併用する場合あり
9		社会と地域ⅠB－社会学の基礎－	和泉 浩	1	3Q (9/30)	若干名	教養基礎教育科目	—	上限40名/オンデマンド/B1
10		社会と地域ⅡB－都市社会学の基礎－	和泉 浩	1	4Q (11/29)	若干名	教養基礎教育科目	—	上限40名/オンデマンド/B1 ※Ⅰを履修していることが条件
11		教養ゼミナール1 －国語教育から多様性 (diversity) を考える－	高橋 菜由	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	15名以内/対面/J
12		教養ゼミナール1－ドイツ語圏の音楽と文化－	川辺 茜	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	20名以内/対面/B1
13		人間関係論Ⅱ－社会の中での私－	佐々木 久長	2	3Q (10/3)	若干名	教養基礎教育科目	木/5～8	50名程度/対面/J
14		Japanese Thought －Nature and the environment－	Paşca Roman	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	対面/E
15		子ども家庭支援論Ⅰ	瀬尾 知子	1	3Q (9/30)	若干名	教養基礎教育科目	月/3・4	40名以内 (保育士資格取得希望者優先) /対面/J
16		子ども家庭支援論Ⅱ	保坂 和貴	1	4Q (12/2)	若干名	教養基礎教育科目	月/3・4	40名以内 (保育士資格取得希望者優先) /対面/B1
17		哲学入門Ⅰ	小倉 拓也	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	ハイフレックス型/J
18		哲学入門Ⅱ	小倉 拓也	1	4Q (12/3)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	ハイフレックス型/J
19		教養ゼミナール1－生活の中の数と図形－	加藤 慎一	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/3・4	20名以内/対面/B1
20		教養ゼミナール1－気候変動と環境問題－	本谷 研	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	20名以内/対面/J
21		教養ゼミナール1－量子力学の世界－	林 正彦	1	3Q (10/2)	若干名	教養基礎教育科目	水/9・10	50名以内/対面/J
22		ライフサイエンスⅡC	河又 邦彦	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	48名以内/対面/J
23		自然環境と住まいⅠ－建築環境学入門－	西川 竜二	1	3Q (10/4)	若干名	教養基礎教育科目	金/5・6	40名以内/対面/J ※Ⅱ受講の前提科目
24		自然環境と住まいⅡ－建築環境学入門－	西川 竜二	1	4Q (11/29)	若干名	教養基礎教育科目	金/5・6	40名以内/対面/J ※Ⅰを履修していることが条件
25		Environment and engineering - What we have done and what we can do -	三島 望	1	3Q (10/2)	若干名	教養基礎教育科目	水/3・4	対面/E
26		教養ゼミナール1 －人間関係と暴力 (DV・虐待)－	米山 奈奈子	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/5・6	30名程度 /オンデマンド/B1 7・8回目はライブ遠隔 (Zoom)
27		がん医療と緩和ケア	(責) 煙山 晶子	2	3Q (9/30)	若干名	教養基礎教育科目	月/7・8 木/9・10	150名程度/オンデマンド/B1
28		医学と健康ⅡB	(責) 海老原 敬	1	3Q (10/1)	若干名	教養基礎教育科目	火/7・8	オンデマンド/B1
29		秋田の自然と文化B －秋田の自然・資源・社会・文化－	(責) 渡辺 寧	1	4Q (12/5)	若干名	教養基礎教育科目	木/7・8	150名まで/対面/B1
30		超高齢社会と健康寿命 －秋田県の保健医療の包括的な取り組み－	(責) 佐竹 将宏	1	4Q (12/5)	若干名	教養基礎教育科目	木/5・6	オンデマンド/J
31		秋田の産業	(責) 三島 望	1	3Q (9/30)	若干名	教養基礎教育科目	—	オンデマンド/J
32		フィールド活動の基礎Ⅰ －野外活動の基礎知識－	成田 憲二	1	3Q (10/2)	若干名	教養基礎教育科目	水/3・4	150名以内/対面/J
33		フィールド活動の基礎Ⅱ －野外活動の基礎知識－	成田 憲二	1	4Q (12/4)	若干名	教養基礎教育科目	水/3・4	150名以内/対面/J ※Ⅰを履修していることが条件
34		データサイエンスリテラシー概論B	教育推進主管	1	後期集中 (10/1～1/31の間に受講)	若干名	教養基礎教育科目	—	オンデマンド/J

【注意事項】

・授業方法（※1）

① 「対面授業」

特定の時間と場所に教員と学生が集まり、講義を受講したり、議論や実習を行う授業。対話、討論、グループワークなどが中心となるような授業。

② 「ライブ遠隔授業」

授業場所は定めず、特定の時間にネット回線を利用して行う授業。

③ 「オンデマンド授業」

Zoomで録画した動画や音声解説付きパワーポイントファイル等、音声による説明があるオンデマンド資料を提供。**試験は対面もあり。**

④ 「ハイフレックス（HyFlex）型授業」

- ・対面授業とその録画映像をオンデマンドで提供する。
- ・学生は対面で受講をすることを原則とするが、学生からの申し出があり、特別な理由があると教員が認めた場合は、ライブ遠隔による受講を認める。
- ・オンデマンド映像は全員が視聴可。試験は対面で実施。

⑤ 「ブレンド型授業」

教育内容や教育効果を考慮して、対面とオンデマンドを組み合わせた授業。

例1) 授業時間の半分をオンデマンド教材で基礎知識を学修してもらい、残り半分で対面による議論や演習を行う反転授業。

例2) 15回の授業回の3分の1を対面で行い、残りの3分の2をオンデマンドで行う場合などがこれに相当する。

⑥ 「分散型授業」

同じ授業回に異なる内容の授業を対面と遠隔で行い、学生は分散して受講する授業。

例1) 実験や実習でクラス全員が同時に行うための設備やスペースが整っていない場合。

例2) グループを複数に分けて1グループを実験・実習、残りのグループがオンデマンドあるいは対面で受講させ、これをローテーションする場合。

・語学について

B：日英併用 英語の割合に 強弱をつけて

<実施方法の例>

- ・B1：教科書 配布資料 レポート課題文 試験問題等のすべて又はそのいずれかを英語で提供。講義は日本語。
- ・B1：講義は日本語で行うも 授業回毎に当日の内容 サマリー を英語でまとめた資料を提供。
- ・B2：解説文も含むパワーポイントファイルをすべて英語で作成。ただし専門用語には日本語訳も併記。講義は日本語。
- ・B3：パワーポイントを完全日英併記で作成。講義も日英併用。
- ・B3：教科書や配布資料等は日本語で提供 講義はすべて英語。
- ・B3：ハイフレックス授業において オンデマンド動画と対面授業の一方を完全英語。

E：英語

J：日本語

O：その他の外国語

- ・履修希望の場合は、「特別聴講学生入学願」を所属大学の担当窓口へ以下の提出期日までに提出してください。
以下の期日までに提出が間に合わない場合は、所属大学の担当窓口または以下の連絡先へご相談ください。

◆秋田大学 総合学務課 教務企画担当：TEL 018-889-3192

『特別聴講学生入学願』の提出期日：

令和6年9月19日（木）

- ・履修希望者多数の場合は、人数を調整する場合がございますので予めご了承ください。
- ・各科目のシラバスは、以下のURLからご確認ください。
<https://anet.akita-u.ac.jp/portal/slbsskgr.do>

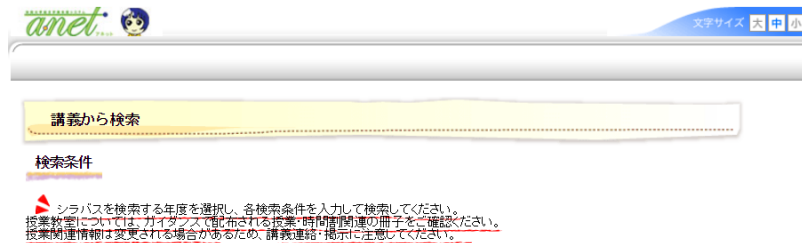
秋田大学：シラバス

秋田大学のシラバスは、使用手順に従って、以下の URL の「講義から検索」から確認いただくことができます。

URL: <https://anet.akita-u.ac.jp/portal/slbsskgr.do>

【使用手順】

- ① 「単位互換授業履修対象科目一覧」に掲載されている授業科目名を [講義名称] 欄に入力
- ② [シラバスを検索する] をクリック
- ③ 検索して表示された科目名をクリック
- ④ シラバスをダウンロードしたい場合は、表示画面の一番下までスクロールした後、[PDF] をクリック



①

②

シラバスを検索する

年度	2017 年度
キャンパス	--未選択--
対象学部・研究科	--未選択--
分野系列	--未選択-- (分野系列を指定する場合は、対象学部・研究科の選択が必要です。)
対象学年	--未選択-- (対象学年を指定する場合は、対象学部・研究科の選択が必要です。)
講義名称	材料の世界
担当教員	
開講時期	--未選択--

③

授業に関連するキーワード / Course Keywords	エネルギー 光学材料 元素資源	金属材料 鉄鋼材料	耐熱材料 環境
成績評価の方法と基準 / Grading Criteria	達成目標についてレポート提出を求め、各達成目標の達成率を評価する。具体的には、3つの講義分野から出された各々の課題について指定された期日までレポートを提出する。成績はレポートにより評価し、全ての達成目標で60%以上の評価を得た者を合格とする。なお、欠席が1つ以上の講義について2回もしくは合計3回に達したものはD評価とする。		
教科書・参考書等 / Textbook / Reference Books			
メッセージ / Messages	教科書・参考書等についてはプロジェクトを使用する。機能材料を使った実際の製品を一部紹介する。		
更新日付	2017/03/23 15:06		

検索結果一覧へ戻る

④

PDF